

10周年記念

特集号

# の 市報

## みのかも

発行  
美濃加茂市  
美濃加茂市太田町  
電話2111(代)番  
編集  
秘書企画課

### 市制10周年を記念して



1日に市民運動会

### こぞっての参加を

市制10周年を記念して、記念式典並びに市民運動会を催すことになりました。11月1日(日)午前9時30分から午後3時まで、旧古井小学校校路で、盛大に挙行政します。市民の皆様のごぞっての参加をお願いします。

### 記念式典

記念式典は、運動会に先だつて、午前9時30分から、11時まで、旧古井小学校路(雨天の時は中央公民館)で過去10年の健全な伸展を祝うとともに、将来の発展を祈願して行ないます。

式典には、地方自治功労者として、自治振興関係18人を始め、納税、社会事業、教育学芸文化、産業振興、道路保護、消防関係など30人の表彰と12人に感謝状が贈られます。

### 雨天の時は3日に

一日が雨天の時は式典は中央公民館で行な

い運動会は(小雨決行)中止して3日(祭)午前9時30分より、旧古井小学校校路で行ないませんが、雨天により中止するときは、午前8時に各町のサイレンを吹鳴しますので、天候が危ぶまれるときなどは8時のサイレンに充分ご注意下さい。

競技は24種目  
2,700人が出場

運動会は、午前11時より自治会の親子三代リレーを始め、青年団消防団、婦人会、小中学校生徒、来賓並びに一般の自由参加など、24の競技種目68種によって、2,700人が出場することになってい

### 第一回臨時市議会 一般会計補正予算など 十議案原案どおり可決

市制10周年記念行事と台関係予算などを審議する第一回臨時市議会は、十六日開会され、提出十議案を原案どおり、可決して同日閉会しました。

第一回臨時市議会は、十六日午前九時三十分から開会し、まず市長の招集のあいさつと提出議題の概要の説明があつたのち、会期を一日と決め、三十九年度一般会計補正予算など九議案と一報告を審議しました。いずれも原案どおり可決して午前十一時三十分閉会

可決された主なものは次のとおり  
一般会計に  
四四一万円を追加  
追加四四一万円の内訳は  
総務費一、一〇〇千円(十周年式典と市民運動会経費)

農林費七〇五千元(農道の五〇〇千円と水路の二〇〇千円の耕地改良費)、災害復旧費九四四千元(黒岩線復旧工事費四六六千円、一般市道二〇〇千円)などが主なものです。

これで三十九年度一般会計は三三〇、五四七千円となりました。

任期満了の教育委員は、古井町の神代千尋、太田町の岡崎守剛氏を再任に同意し同日市長が任命しました

公選委員に  
山田豊作氏を再任  
公選委員木野新六氏の任

### 選挙人名簿の縦覧

5日~19日  
選挙人名簿の縦覧は、選挙管理委員会では九月十五日現在で基本選挙人名簿を調製し、五日から十九日の十五日日間、市民課窓口と各連絡所で縦覧しております。

この名簿に登記された人は、今年の六月十五日以前から引続き、

期満了に伴ない後任に、牧野の山田豊作氏を選任することに同意し、同日市長が選任しました。

本市に住所があり昭和十九年十二月二十一日までに生れた人です。あなたの名前が載っているかお確かめ下さい。

もし脱漏、誤載がありましたら、早速選挙委員会または連絡所へお申し出下さい

基本選挙人名簿に脱漏の人、本市に六月十六日以降に転入された人、満二十才に達しられた人は本人の申請によつて、選挙人名簿に登録されます。今回の選挙法の改正で、補充申請は、いつでも申し出ることが出来るようになりました受付は市民課と各連絡所です。

## 市制10周年を迎えて

ごあいさつ

市長 岸 東 八 郎



美濃加茂市が発足して以来、早くも十周年を迎え、今日順調な伸張をみていますことは、市議会議員始め、市民各位のご理解あるご協力のご尽力の賜と存じ、厚くお礼申し上げますと共にご同慶に存じます。

申し上げるまでもなく

本市は、中部経済圏内陸部屈指の交通の要衝として、また飛騨、木曾川の合流点として豊富な水資源や工場用地、労働力、電力を包蔵する恵まれた立地条件を具備しており、今後の発展に各方面より大きな期待が寄せられ、その将来は洋々たるものと確信致します。幸にして、前渡辺市長さんの卓越した政治力により市としての一体性の確立と産業開発に格段の努力がはられ、進んでは木曾川を中心とする区域行政の進展がはられてきました。

こうして迎えた市政十年の強固な基盤を上台として自然的、地理的な有利な諸条件を生かし、今後の本市発展百年の大計の上に立つて、積極的に諸施策を推進してまいりたいと存じます。

特に大規模工場の誘致、木曾川右岸用水の早期実現とこれに伴う近代農業の経営体制の確立、中小企業の近代化育成、市道の改修補装、西部中学校の統合を始め教育施設の建設、豊備あるいは名古屋—美濃加茂間を車で20分で結ぶ名濃バイパスの早期実現、飛騨木曾川国定公園の指定に伴う観光施設の充実等、重要施策の推進と相俟つて、明年の岐阜国体を控えて、伸びゆく県民運動を強力に進めるとともに、市民生活に直結する明るい市政の推進につとめ市民意識を高揚し市勢繁栄と市民福祉の増進に一層の努力を致したいと存じます。

市制ここに十年、ご協力頂きました市民の皆様へ感謝申し上げますと共に今後とも格段のご協力、ご指導を心からお願い申し上げます。

市役所秘書金商課でお尋ね下さい。

その能くわしいことは、

● 申請書(市役所秘書金商課で交付) ● 履歴書(自筆) ● 健康診断書(保健所発行のもの) ● 住民票記載事項証明書、最終学校成績証明書、各一通を市役所秘書金商課まで十一月七日までに提出のこと。

● 手続き(申込み) ● 申込書(市役所秘書金商課で交付) ● 履歴書(自筆) ● 健康診断書(保健所発行のもの) ● 住民票記載事項証明書、最終学校成績証明書、各一通を市役所秘書金商課まで十一月七日までに提出のこと。

● 試験

十一月九日、午前十時  
十一月十日、午前十時  
十一月十一日、午前十時

● 試験

市内在住六ヶ月以上の  
市内在住六ヶ月以上の  
市内在住六ヶ月以上の

● 試験

十一月九日、午前十時  
十一月十日、午前十時  
十一月十一日、午前十時

● 試験

市内在住六ヶ月以上の  
市内在住六ヶ月以上の  
市内在住六ヶ月以上の

● 試験

## 10年のあゆみを集

私たちの街、美濃加茂市は昭和29年に産声をあげてから10才になりました。この間「人の和」の強力な力により、市としての骨格づくりに努力が続けられ、幸いにして、地理的、自然的に恵まれた本市は、早いペースでその歩を進め、更に飛躍発展する多くの諸要素を十分に具備し、将来洋々たるものがあります。この10年の歩みと発展の足がかりとなる過去の意義ある行事を10周年に記念して特集してみました。

## 美濃加茂市の現況

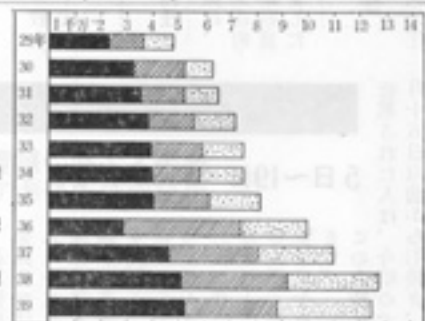
人口 32,982人 男 16,267人 女 16,715人  
世帯数 7,114戸 位置 北緯35°26' 東経137°10'  
広がり 東西8.5km 南北10.0km 面積75.81km<sup>2</sup>

産業別就業者		財政の伸び	
産業	年別	(一般会計才出決算)	
農	業	35年	
農	業	7,423	
林業・狩猟業		37	
魚	業	0	29年 163,879
鉱	業	170	30年 148,872
建設業		683	31年 141,823
製造業		2,112	32年 146,924
卸売業・小売業		1,933	33年 161,797
金・銀・証券・不動産業		172	34年 187,720
運輸・通信業		892	35年 243,063
電気・ガス・水道業		86	36年 298,012
サービス業		1,585	37年 290,216
公務		391	38年 307,062
分類不能の産業		4	39年 318,500(予算)
総	数	15,493	

## 市税の

## 伸長

● 固定資産税  
● 市民税  
● その他の税



## 女子職員採用試験

美濃加茂市では、女子職員の採用試験を次のとおり行ないます。

● 資格

(1) 新制高校またはこれと同等級上の学校を卒業した者、ならびに昭和四十年三月卒業見込の者

(2) 市内在住六ヶ月以上の者

(3) 市内在住六ヶ月以上の者

(4) 市内在住六ヶ月以上の者

(5) 市内在住六ヶ月以上の者

(6) 市内在住六ヶ月以上の者

(7) 市内在住六ヶ月以上の者

(8) 市内在住六ヶ月以上の者

(9) 市内在住六ヶ月以上の者

(10) 市内在住六ヶ月以上の者

(11) 市内在住六ヶ月以上の者

(12) 市内在住六ヶ月以上の者

(13) 市内在住六ヶ月以上の者

(14) 市内在住六ヶ月以上の者

(15) 市内在住六ヶ月以上の者

(16) 市内在住六ヶ月以上の者

(17) 市内在住六ヶ月以上の者

(18) 市内在住六ヶ月以上の者

(19) 市内在住六ヶ月以上の者

(20) 市内在住六ヶ月以上の者

(21) 市内在住六ヶ月以上の者

(22) 市内在住六ヶ月以上の者

(23) 市内在住六ヶ月以上の者

(24) 市内在住六ヶ月以上の者

(25) 市内在住六ヶ月以上の者

(26) 市内在住六ヶ月以上の者

(27) 市内在住六ヶ月以上の者

(28) 市内在住六ヶ月以上の者

(29) 市内在住六ヶ月以上の者

(30) 市内在住六ヶ月以上の者

## 10年のあゆみ

## 昭和29年 (1954年)

- 4月 1日 理想的な地方自治体確立のため、加茂郡太田、古井両町に山之上、蜂屋、加茂野、伊深、三和（鹿塩地区を除く）下米田の六村、それに、和知村牧野が大同団結し「美濃加茂市」として発足。人口31,629人、戸数5,591戸、面積77,65平方杆。市長職務執行者に前太田町長の渡辺栄一氏就任



- 4月25日 初の市長選挙が行なわれ渡辺栄一氏が無投票当選。

- 5月 5日 市制施行祝賀式

- 6月 1日 母子寮付設保育所(244㎡)  
古井第一保育所 (284㎡)  
が完成。



- 7月30日 下米田町を中心に豪雨被害発生、被害額21,810千円。

- 8月 3日 消防署庁舎完成、99㎡、望楼25m、総工費165万円。

- 9月14日 「日本ライン」県立公園に指定。

- 10月23日 加茂野小学校(木造瓦葺2階建1,063㎡)ならびに屋内体操場(木造瓦葺平屋建380㎡)が完成。

- 11月 1日 加茂野保育所開設。



## 昭和30年 (1955年)

- 3月25日 初の市議会議員選挙が行なわれ、49名の立候補者の中から30名が当選。

- 4月 1日 牧野公民館(木造瓦葺平屋建132㎡)が完成

- 5月24日 三和小学校(木造瓦葺2階建1,009㎡)が完成

- 7月26日 北中学校(木造瓦葺2階建1,132㎡)が完成。

- 9月14日 山之上小学校完成、鉄筋コンクリート3階建、1,422㎡



## 昭和31年 (1956年)

- 1月14日 伊深保育所が開設。

- 6月15日 下米田保育所が開設。

- 7月 2日 産業観光会館(木造瓦葺2階建465㎡)完成



- 8月15日 美濃加茂市才一地域（太田、古井、加茂野下米田）が新農村建設地域に指定。
- 10月 8日 市内各町消防団を統合一本化し、「美濃加茂市消防団」として改組、583名の団員を10分団483名とした。

### 昭和32年（1957年）

- 3月16日 太田中学校屋内体操場完成。鉄筋造580 $m^2$
- 3月20日 伊深簡易水道完成、伊深町全域に給水実現
- 4月 9日 天皇、皇后兩陛下全国緑化大会に行幸、途中美濃太田駅御通過。市民奉迎。
- 5月 1日 三和保育所が開設。
- 5月16日 古井公民館(432 $m^2$ )と郷土館(112 $m^2$ )が完成。
- 7月19日 皇太子殿下「日本ライン」に行啓市民多数の奉迎を受け、本市より御乗船、渡辺市長の説明を受けられ、ライン下りを楽しまれる。
- 8月 1日 新市町村建設促進法に基づく「モデル都市」に指定。



9月26日 伊勢湾台風来襲、瞬間最大風速42.2m。市災害対策本部を設置。

9月27日 災害救助法発令、死者6人重軽傷者64人住家全壊194戸、半壊476戸、床上浸水10世帯、床下浸水115世帯、土木、耕地、農林等被害甚大。



被害総額2,216,000千円

10月25日 災害仮設住宅71戸が完成。

11月6日 災害激じん地に指定。



## 昭和35年 (1960年)

2月18日 初の名誉市民に津田左右吉博士を推挙。

5月6日 市役所庁舎建設地鎮祭。

6月1日 木曾川右岸用水基礎調査始まる、総合開発調査費12,189千円。

10月14日 西ドイツライン河畔「オーバーバーゼル市」に菊花石と市長の信書を贈り友好の第一歩をふみ出す。

11月6日 三和小学校廿屋分校完成。

## 昭和36年 (1961年)

4月8日 県立加茂農林高等学校完成、県立加茂高等学校より独立。

4月16日 市民の殿堂市役所庁舎完成、総工費117,456千円。鉄筋コンクリート3階建(一部4階)地下1階の3,360㎡。



- 8月 1日 第二地域（蜂屋山之上、伊深、三和）が新農村建設地域に指定
- 9月 5日 山之上町有線放送施設が完成。
- 10月13日 市制施行3周年記念式典挙行。



### 昭和33年（1958年）

- 3月20日 渡辺栄一氏再び市長に無投票当選。
- 4月 1日 美濃加茂市農業共済組合発足、市内八農業共済組合を統合一本化。
- 4月10日 山之上保育所が完成。
- 4月24日 蜂屋小学校屋内体操場（375㎡）完成。
- 5月 5日 母子寮焼失、被害額4,210千円
- 9月 1日 上水道給水開始、送配水管総延長 33,400m、給水人口 15,500人、1日配水量4,500トン、工費1億5千万円。
- 11月11日 母子寮完成、木造瓦葺平屋建 234㎡、工費3,314千円



### 昭和34年（1959年）

- 3月29日 市議会議員選挙、42名の立候補者の中から30名が当選。
- 4月 1日 国民健康保険全市に実施、加入世帯3,426戸、15,986人。
- 8月26日 台風七号来襲、伊深、三和地区を中心に集中豪雨、橋梁流失。被害額53,187千円



- 6月27日 梅雨前線豪雨により木曾川大洪水、災害救助法発令、ボート救助に出動。床上浸水 218世帯、床下浸水 102世帯  
被害額149,752千円
- 9月16日 第2室戸台風来襲、農産物などに甚大な被害  
被害額224,653千円
- 11月10日 市章を制定。



### 昭和37年 (1962年)

- 1月25日 県道美濃加茂～美濃線宝仙坊トンネル貫通  
市内を従断、主要産業道路となる。  
幅3.8m、高さ3.5m、延長126m。
- 3月15日 名古屋と電話  
即時通話開始
- 3月20日 渡辺栄一氏三たび市長に無投票当選。
- 4月11日 一市四町組合立し尿処理場完成、処理能力1日3万6千人分。  
工費55,000千円
- 5月12日 加茂野町稲辺簡易水道完成。給水戸数75戸  
工費3,500千円
- 7月 2日 渡辺市長欧米都市行政視察に出発、職務代理者助役小島賢就任。
- 7月16日 県下で初の市政モニター制度を採用。
- 8月10日 渡辺市長、欧米視察より帰国



9月9日 東中学校完成  
鉄筋コンクリート3階建、  
延4.427㎡、  
工費、  
86,481千円



9月15日 低開発地域工業開発区に指定。

12月15日 誘致工場6社合同調印。



### 昭和38年 (1963年)

5月14日 可茂地区市町村行政連絡会議発足。  
木曾川を中心にした1市2郡で共通の問題解決に乗り出す。

6月22日 長雨のため被害続出、特に麦は収穫皆無となる。  
被害額149,000千円

9月23日 古井小学校増築完成、鉄筋コンクリート3階建、  
延(1,755㎡)  
工費27,324千円

10月2日 山之上小学校屋内体操場完成、  
鉄骨木造建363㎡  
工費5,500千円

10月28日 渡辺市長、衆議院議員立候補のため市長を辞任。  
職務代理者助役小島賢就任。

12月15日 岸東八郎氏、市長に当選  
四代目市長となる。





3月 3日 飛騨、木曾川国定公園  
全国で初の、河川  
美々公園として指定  
される。

3月31日 美濃加茂市農業協同  
組合発足。  
各町農業協同組合が  
合併、農業経営指導  
体制が確立。

## 今 後 の 課 題

### 名濃バイパス

名古屋、美濃加茂間(28.4km)を最短で結ぶ「名濃バイパス」は一昨年から調査費がつき、路線を決定して今年から愛知県側より5億円の予定で用地買収を始めている。総工費100億円といわれるこの名濃バイパスは、市員20~30m。木曾川にかかる名濃大橋(仮称)も今秋からボーリング調査が開始されることになっている。

### 木曾川右岸用水

加茂台地 3,500ヘクタールの農地を潤し、また工場用水として、飲料水として毎秒10トンを使用する木曾川右岸用水が計画され、42年度から着工されようとしている。

### 西中学校

太田、蜂屋、加茂野の3中学校を統合する西中学校は、3地区の公約地点で建設することで意見が一致、来年度着工の予定これで本市の中学校統合は完成する。

### ディーゼル基地

国鉄では、高山線太多線の復線電化。名古屋一岐阜一美濃太田一多治見を循環復線で、結ぶ第三次計画の列車増強のため、ディーゼル基地設置の検討が進められ、本市古井町地内に7億円を投資して、7万㎡、250輛収容の基地にする計画。

